

平成27年度

# 橋梁技術発表会及び講演会

—伊藤學賞表彰式—

参加費無料  
定員650名  
申込先着順

平成27年

日時

10/9 金

13:30~17:40

13:30~13:40

開会の辞

一般社団法人 日本橋梁建設協会  
会長 石井 孝

13:40~14:00

橋建協報告

広報委員会

会場

銀座ブロッサム(中央会館)ホール

〒104-0061 東京都中央区銀座2-15-6

Tel.03-3542-8585

申込方法

- ①Fax. 03-3507-5235(裏面の用紙に記載)  
②ホームページ(URL) <http://www.jasbc.or.jp/>  
の「技術発表会申し込み受付」まで(受付は9月初旬から)

申込期限

平成27年9月25日(金)

懇親会

銀座ブロッサム7階「マーガレット」にて18時00分から開催します。  
参加ご希望の方は、発表会当日受付にてお申し込みください。

連絡先

一般社団法人 日本橋梁建設協会  
〒105-0003 東京都港区西新橋1-6-11  
西新橋光和ビル9階 Tel. 03-3507-5225

継続教育

CPDS認定予定

- ※大阪地区は 10月16日(金) ドーンセンター  
北海道地区は 10月23日(金) 北海道経済センター  
東北地区は 11月 6日(金) 仙台国際センター  
中部地区は 11月13日(金) 東建ホール  
九州地区は 11月27日(金) レソラNTT夢天神ホール 開催です。  
申し込み等詳細はホームページでご確認願います。

## 第1部:技術発表会

14:00~14:40

1.三宝第1工区鋼桁及び鋼製橋脚  
工事の設計・工事報告

架設小委員会 架設部会 下田 晃伸

14:40~15:20

2.ベトナム:ニャットン橋の建設工事  
~東南アジア最大級の6径間連続合成斜張橋の建設~

海外事業展開特別委員会 得地 智信

15:20~15:40

休憩

## 第2部:伊藤學賞表彰式

15:40~16:40

表彰式

16:40~16:50

休憩

## 第3部:特別講演会

16:50~17:35

橋梁技術のレジリエントな  
社会への貢献

早稲田大学 理工学術院 創造理工学部  
社会環境工学科 教授

依田 照彦



17:35~17:40

閉会の辞

橋梁技術発表会実行委員会 委員長 上原 正

### アクセス



- 東京メトロ有楽町線「新富町駅1番出口」徒歩1分  
●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線「東銀座駅3・5番出口」徒歩8分

## 特別講演会 講演者紹介

### 橋梁技術のレジリエントな社会への貢献

#### —略歴—

- 1970年 3月 早稲田大学工学部土木工学科卒業
- 1972年 3月 早稲田大学大学院理工学研究科修士課程修了
- 1977年 4月 早稲田大学工学部土木工学科助手
- 1978年 3月 早稲田大学大学院博士課程修了(工学博士)
- 1982年 4月 早稲田大学工学部土木工学科助教授
- 1987年 4月 早稲田大学工学部土木工学科教授
- 2006年 9月 改組により早稲田大学理工学術院創造理工学部教授

### 依田 照彦

早稲田大学理工学術院創造理工学部  
社会環境工学科 教授

#### 講演概要

我が国において、高度経済成長期が第一のインフラ整備期とすれば、今、第二のインフラ整備の時期を迎えているように思う。第二のインフラ整備では、高度経済成長期と違って、橋梁の計画・設計・架設・維持管理・補修等にあたって、常にライフサイクルコストを考え、イノベーション技術を駆使し、レジリエントな社会の構築を目指さなければならない。この目標に向かって必要な橋梁技術を、過去の損傷事例とともに考えてみたい。

FAX番号:03-3507-5235

平成27年度

10月9日(金)

橋梁技術発表会

[東京地区]

参加申込書

所 属

団体名

所属

氏 名

役職

氏名

住 所

〒

電話番号

FAX番号

E-mail

前回参加の有無 有 ・ 無